

# 株式会社ミュージックバード

## 第69回番組審議会 議事録

1. 開催日時 平成28年2月17日(水) 15時00分~16時30分

2. 開催場所 TOKYO FM 10階 大会議室

3. 出席者

<番組審議会委員>

矢内 廣 委員長  
松尾 修吾 副委員長  
福本 ゆみ 委員  
村井 裕弥 委員

欠席 中西 健夫 委員  
佐野 光徳 委員

<ミュージックバード>

代表取締役社長	一瀬 勝
常務取締役コンテンツ事業部長	雄谷 英一
取締役技師長	江森 武男
常勤監査役	関田 好久
コンテンツ事業部グループリーダー	岩崎 育郎
コンテンツ事業部プロデューサー	田中 美登里

4. 議事内容

- (1) 放送活動のご報告
- (2) 番組試聴
- (3) その他の活動

5. 配布資料

- (1) 第69回番組審議会資料
- (2) 第68回番組審議会議事録

## (1) 主な放送活動報告

～各ch主な4月改編新番組～

<121ch THE CLASSIC>

【SACDコレクション】 (土6:00～10:00)

自慢のオーディオで音楽を楽しむ方のための新番組。クラシックを楽しむオーディオファンに向け、SACDに特化して話題のディスクを紹介。

<122ch THE JAZZ>

【行方均のジャズ100年の名曲名演500時間】 (土8:00～13:00 再放送/日3:00～8:00)

最初のジャズのレコードが生まれてからまもなく100年を迎えようとする今、番組時間トータル約500時間にわたってジャズの名曲と名演を紹介していく。

【後藤雅洋のジャズ喫茶の1000枚】 (月～金9:00～11:00 再放送/月～金20:00～22:00)

四谷のジャズ喫茶「いーぐる」が所蔵するアルバム1万枚の中から厳選した1000枚をテーマ別に紹介。

【杉田宏樹のザ・ジャイアンツ モダン・ジャズの巨人たち】 (月～木15:00～17:00 再放送/土16:00～24:00)

永遠に人気のジャズ・ジャイアンツを特集。ビギナーにも楽しめる定番番組。

【その他】

・ジャズの名盤や洗練されたジャズ・オーケストラ、人気のジャズ・ボーカルの各ゾーンを新設。

<124ch THE AUDIO>

【レコーディング・エンジニア列伝】 (土9:00～10:00 再放送/土20:00～21:00)

オーディオ評論家小原由夫が名レコーディングエンジニアたちを軸に名盤を紹介。

【ハイレゾ新譜 by e-onkyo music】 (土15:00～17:00)

高音質ファンに話題のハイレゾ新譜・新着音源をノンジャンルで紹介。

【逸品館・清原裕介のオーディオ・ガイド】 (火9:00～10:00 再放送/火20:00～21:00)

大阪の有名オーディオショップのカリスマ店長によるユーザー目線のオーディオ指南。

### <MB説明>

各チャンネルの4月改編について。オーディオファンを意識し、クラシックチャンネルにおいても音質に拘った新番組をスタート。ジャズチャンネルでは80%ほどの改編率となり、衛星放送ならではの大型番組を編成し、ビギナーの方にも楽しめるエンサイクロペディア的な番組を導入した事、オーディオチャンネルではジャンルに拘らず、オーディオファンに人気のレコーディングエンジニアがレコードやCDを録音する際のエピソードや聴きどころなど、有名オーディオ店店主がオーディオユーザーの視点に立って解説する番組などをスタートしたことが報告された。

### <委員の意見>

番組制作に使用しているCDプレイヤーなどの機材にはどの程度気を遣っているか？オーディオファンにとっては使用機材の良し悪しについて感度が高い。オーディオファンに向けた放送ではここがポイントになる。何を使っているかが売りにならなければならない。

## (2) 番組試聴

◆THE CLASSIC SPECIAL 「“武満徹” という生き方～没後 20 年武満音楽祭 2016」 第 2 回：映画音楽と武満徹

放送日時：2 月 14 日（日） 16：00～22：00

出演：菊地成孔（音楽家、文筆家）、高見一樹（音楽プロデューサー）

番組内容：2016 年は 1996 年 2 月 20 日に亡くなった作曲家、武満徹（1930-1996）の没後 20 年。1967 年に尺八、琵琶とオーケストラのための「ノヴェンバー・ステップス」で「現代音楽」の作曲家として国際的な評価を得た武満は数々の映画音楽、ポップソングを残し、国内外の知られざる音楽を紹介する現代音楽祭「MUSIC TODAY」のプロデューサーとしても活動。

4 回シリーズの第 2 回は、「武満徹と映画音楽」。1956 年に映画『狂った果実』（監督：中平康）の音楽を担当して以降、生涯で 100 本近くの映画音楽を作曲した武満徹は大の映画好き。純音楽を作曲する一方で映画音楽は武満徹にとってさまざまな音楽的な実験の場となったと言われている。この回ではジャズ・ミュージシャンで文筆家の菊地成孔とプロデューサーの高見一樹によるユニークな武満映画音楽論をお送りします。

### （武満徹プロフィール）

1930 年、東京に生まれる。おもに独学で作曲を学んだ。作品は、コンサート・ピースから電子音楽、映画音楽、舞台音楽、ポップ・ソングまで多岐にわたる。「タケミツ・トーン」と呼ばれた独特の響きは、世界中の演奏家、音楽ファンを魅了した。また 1973 年から 1992 年までおこなわれた「Music Today」の音楽監督や、1986 年に始まった「サントリーホール国際作曲委嘱シリーズ」を監修するなど、常に同時代の音楽に高い関心を持ち、多くの優れた作曲家を日本に紹介した。名エッセイストとしても知られ、『音、沈黙と測りあえるほどに』などの他多数の著書がある。1996 年、65 歳で死去。

### （菊地成孔プロフィール）

1963 年千葉県生まれ。音楽家として 84 年に横須賀米軍ベースでデビュー後、リーダーアルバム、スタジオワーク多数。著作デビューは 03 年「スペインの宇宙食」（小学館）。以後、精神分析学から服飾文化史、音楽理論史など、膨大な知識と妄想を駆使した饒舌な文体で、異形の批評家/エッセイストとして著書多数。対象は音楽、映画、料理、服飾、格闘技に及ぶ。

### <MB説明>

世界的な現代音楽の作曲家である武満徹の足跡を振り返る特別番組。映画音楽やポップソングも多数ある武満の音楽を聴く節目として没後 20 年にあたる今月編成した。

### <委員の意見>

ジャズミュージシャンの菊地さんたちが語る武満論は、CDの武満全集を聴いても明らかに気づかない武満の魅力を学ぶことが出来た。惜しむらくは、この映画をリアルタイムで見ている方もトークに参加していればより深みがあったと思う。

### <MB説明>

オドロドロしい映画の劇伴も多数紹介したが、日本映画の勃興と武満の関わりが伝わる内容だったと思う。

### <委員の意見>

武満のラジオドラマにインスパイヤーされた篠田正裕監督とその後の武満の関係、作曲家を逸脱して映画の演出に関与までした武満の仕事ぶりを思い出した。武満が芸術的な映画から商業映画までバラエティ豊かな幅広い音楽を残したこと、また流行に左右されずオリジナリティを追及しているため、古さを感じさせない音楽に感心した。

篠田監督にトークさせても面白かったと思う。

以上